

## 千葉県立鶴舞看護専門学校 学校関係者評価実施報告

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「令和6年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

### 1 実施年月日

令和7年9月19日(金) 13時30分～15時00分

### 2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者(非常勤講師)、看護職能団体、卒業生に出席を依頼しました。

### 3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① 全職員が授業準備の時間、自己研鑽の時間を確保し、ワークライフバランスを考えて働き方のための業務内容を共有し、助け合う。
- ② 職員間の情報共有、意見交換の機会を作り、教育力向上をはかる。
- ③ 学生が主体的に理解につながる学びができるよう、カリキュラムを評価し再構築する。
- ④ 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。

### 4 学校関係者評価・意見

主なご意見は以下のとおりです。

大項目	主 な ご 意 見 等
I 教育理念・教育目的 教育目標等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 育てたい学生像が表れており、とても良い。</li><li>・ 教職員の教育として浸透している。学生の指針としても一部には浸透しているのではないかと思う。</li><li>・ 看護師になるために必要な目標が的確に明記されている。</li></ul>
II 教育課程	<ul style="list-style-type: none"><li>・ カリキュラムの変更など現在の医療や看護状況に合わせ作成されており、教育課程は適切であると感じる。</li><li>・ 多様な科目が用意されていて、基礎から専門科目まで、広く学べるところがよいと思う。</li></ul>
III 教育活動	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学生の学力にも差があるので、教員間での連携や意見交換は重要である。</li><li>・ 講義だけでなく、実習はもちろん行事も充実していると思う。</li></ul>
IV 経営管理	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 校舎も古いため、安全性や耐震性の改善が必要。</li><li>・ 学生も大切だが、教職員の心身の健康とゆとりあってのことだと思うので、残業減が実現することを期待する。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労務管理は平均点以下となっており、教職員のウェルビーイング実現に向けて頑張ってもらいたい。</li> </ul>
V 入学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子化や入学者が減っている状況で、学生の確保は難しいと思われるが、受験時期を早めたり社会人推薦枠を増やしたり様々な対応を行っており評価に値する。今後もより質の高い学生の確保に努めてほしい。</li> <li>・ 高校訪問等広報活動も積極的に行っている。社会貢献の一環として、在校生の母校訪問ができると良いのではないかな。</li> <li>・ 今後入学してくる学生の多様化に合わせ、対応を検討する必要がある。</li> </ul>
VI 卒業・就業・進学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内の様々な施設に卒業生を輩出しており、素晴らしいと思う。</li> <li>・ 国家試験対策や就職支援、卒業生に対しても丁寧に対応されている。</li> <li>・ 卒業後も就職先との連携で継続して関わっているところはとても良い。（里帰り day）</li> <li>・ 学生一人一人に合わせた就職支援をしている。</li> </ul>
VII 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近隣の高校や医療機関、福祉施設らと連携がありニーズに応えている。ボランティア活動も含め、継続してほしい。</li> </ul>
VIII 研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多忙な中、よく取り組んでいる。インシデント分析等、実践的実用的な取り組みをしていることは高く評価されて良い。その結果を県内病院等の看護職に共有してほしい。</li> </ul>
自由なご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の教育信念が伝わり、千葉県看護医療を支えていると感じる。</li> <li>・ これからも地域との連携を、同じ地域の高校と一緒に考えていければと思う。</li> <li>・ 年度別の自己評価結果では年々評価が高くなっており、これは教員の自助努力の成果。しかし、働き手の減少や働き方改革などもあり、労務管理において業務効率化に向けて、引き続き DX 化等すすめてほしい。</li> <li>・ 「合理的配慮」に関しては、学則・各種規定・細則に必要事項は記載されている。学則に則り支援を続けてほしい。</li> </ul>

## 5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。